**「横浜市立特別支援学校（看護師配置校）医療的ケア等指示書」への添付文書　　　枚中　　　枚目**

次の児童生徒の**人工呼吸器使用時の安全確保**について「横浜市立特別支援学校（看護師配置校）医療的ケア等指示書」に本書類および下記書類を添付して補足します。

☑添付文書（本書類） □人工呼吸器設定数値 □メーカー連絡先等

□簡易説明書等 □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |
| --- |
| 令和　　年　　月　　日 |
| 記入医師氏名　　　　　　　　　　印 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象者 | 氏名 |  | 生年月日 | 　　年　　月　　日 |
| 住所 |  |
| 人工呼吸器使用の事由等 | □気道の確保　　□換気の補助　 □ガス交換の維持・改善□今後人工呼吸器の使用時間を減らしていく。　（見通し等　　　　　　）　　　　　　　　　　□短期的に人工呼吸器からの離脱を目指している。（見通し等　　　　　　）（→□ウィーニングあり→頻度　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□今後人工呼吸器の使用時間を増やしていく。　（見通し等　　　　　　）□その他特記事項等 |
| 使用時 | □24時間　　　　　□　　：　　～　　：　　　　□（その他条件）　　　　　　 |
| 離脱可能時間 | 覚醒時　　　　分程度　　・　　睡眠時　　　　分程度 |
| 着目すべきバイタルサインや設定値及び傾向や必要な対処 | □酸素飽和度（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□毎分心拍（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□一回換気量（画面表記　　　　　　）（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□分時換気量（画面表記　　　　　　）（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）**その他あれば以下に記載**□（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 頻度が高い処理等 | ☑呼吸器回路の着脱、およびその際の警報音の処理☑呼吸器回路の途中への人工鼻の着脱、およびその際の警報音の処理☑呼吸器回路の結露水の処理（ウォータートラップの着脱含）、およびその際の警報音の処理☑人工呼吸器の電源切り替え、バッテリーの交換、およびその際の警報音の処理□バギングによる換気（必要時　　　　　　　　　　　最長　　　分まで）□その他特に必要な対応等※必要ない場合はチェックを外してください。 |
| その他必要な留意点等 |  |

 **「横浜市立特別支援学校（看護師配置校）医療的ケア等指示書」への添付文書　　３　枚中　１枚目**

次の児童生徒の**人工呼吸器使用時の安全確保**について「横浜市立特別支援学校（看護師配置校）医療的ケア等指示書」に本書類および下記書類を添付して補足します。

☑添付文書（本書類） ☑人工呼吸器設定数値 □メーカー連絡先等

☑簡易説明書等 □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

|  |
| --- |
| 令和　４年　２月　25日 |
| 記入医師氏名　横浜太郎　印 |

記入例、注意点

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 対象者 | 氏名 | 　　　　関内　　　花子 | 生年月日 | 平成21年６月２日 |
| 住所 | 　神奈川県　横浜市　中区　関内1丁目1番地 |
| 人工呼吸器使用の事由等 | ☑気道の確保　　☑換気の補助　 ☑ガス交換の維持・改善□今後人工呼吸器の使用時間を減らしていく。　（見通し等　　　　　　）　　　　　　　　　　□短期的に人工呼吸器からの離脱を目指している。（見通し等　　　　　　）（→□ウィーニングあり→頻度　　　　　　　　　　　　　　　　　）☑今後人工呼吸器の使用時間を増やしていく。（見通し等　高等部ごろまでかかり徐々に）□その他特記事項等筋ジスの進行により、昨年度より人工呼吸器使用開始した。QOLの維持向上のため、呼吸状況を見ながら、必要時は使用時間を増やしていく。 |
| 使用時 | □24時間　　　　　☑７：00～21：00（就寝中）　　　　□（その他条件）　　　　　　 |
| 離脱可能時間 | 覚醒時　１２０　分程度　　・　　睡眠時　６０　分程度 |
| 着目すべきバイタルサインや設定値及び傾向や必要な対処 | ☑酸素飽和度（頻回に96％を切る場合には、腹部の張りがある場合は、呑気と息止めが考えられるため、姿勢の変換等で、呼吸の再開を試みる。喘鳴があるようなら、吸引をする。それでも15分以上96％を切るようなら、医師に状況を報告し指示を受けてほしい。）☑毎分心拍（通常90～110程度　120を15分以上超えるようなら医師に状況を報告し指示を受けてほしい。）☑一回換気量（画面表記　　Vt　　）（通常140ml程度　120mlを頻回に切るようなら、痰の貯留を確認し、吸引の後、回復しなければ医師に状況を報告し指示を受けてほしい。）□分時換気量（画面表記　　　　　　）（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）**その他あれば以下に記載**□（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□（傾向と対処　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 頻度が高い処理等 | ☑呼吸器回路の着脱、およびその際の警報音の処理☑呼吸器回路の途中への人工鼻の着脱、およびその際の警報音の処理☑呼吸器回路の結露水の処理（ウォータートラップの着脱含）、およびその際の警報音の処理☑人工呼吸器の電源切り替え、バッテリーの交換、およびその際の警報音の処理☑バギングによる換気（必要時　　水泳学習　　最長　10　分まで）□その他特に必要な対応等※必要ない場合はチェックを外してください。 |
| その他必要な留意点等 |  |